

3D フォーラム 2017 年度第 1 回見学会報告

作成： 桑山 哲郎 (3D フォーラム事務局代行) E-mail: tkuwa@ga.catv-yokohama.ne.jp

2017 年 8 月 18 日 (金) 3D フォーラムの第 1 回研究会を開催しました。参加者は合計 4 名と大変少数でしたが、内容の充実した研究会を開催することができました。

■見学会の次第：

・開催日時：2018 年 8 月 18 日 (金) 15:00-16:20

3D フォーラム 2017 年度第 1 回見学会は、明治大学博物館 特別展示室 (駿河台キャンパス・アカデミーコモン 地階) で 7 月 4 日～8 月 19 日開催された 企画展「進化する不可能立体錯視～真実がわかっても逃れられない不条理の世界」を見学しました。参加者は合計 4 名と少数でしたが、大変充実した内容で、貴重な体験になりました。以下、見学内容を簡単に紹介します。

【写真撮影：桑山 展示物の著作権は 杉原厚吉 氏にあります】

・主催：明治大学先端数理科学インスティテュート「錯視の心理的・数理的アプローチの融合研究プロジェクト」、私立大学研究ブランディング事業

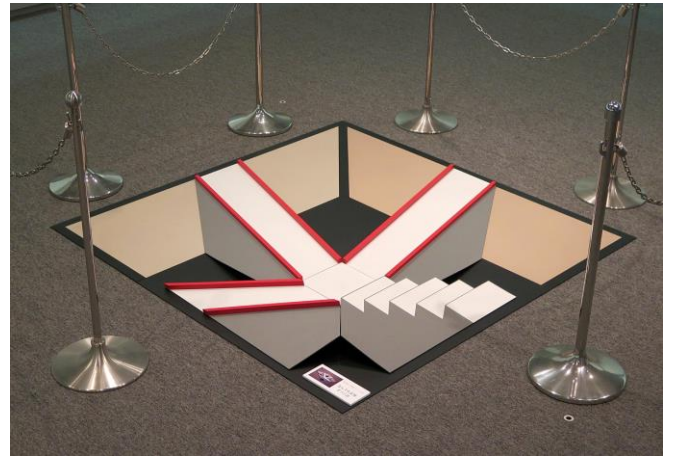
8 月 18 日 15:00 博物館地下 1 階の特別展示室前に集合、簡単な説明の後に 11 分間のビデオ上演「不可能モーション ベストセレクション」のビデオ映像上演を観賞しました。10 パートに分かれていて、そのタイトルは以下です。

1. ゆがんだ窓空間 2. 奇妙な箱 3. マグリットの柱 4. 4つの窓とたすき掛け棒 5. 止まり木と知恵の輪 6. 二つの峠 7. 反重力Tの字すべり台 8. なんでも吸引すべり台 9. 反重力ピラミッド 10. 落ちないかまぼこ屋根

Web サイト、特に YouTube 上では多くの動画の情報を入手することができます。観賞したビデオと同等な動画の情報の一部を以下に掲載します。

<http://buzzap.jp/news/20160704-ambiguous-cylinder-illusion/>
<https://www.youtube.com/watch?v=1dISzq4kIPc&t=59s>
<https://www.youtube.com/watch?v=hEnPNF-7jLg>
<https://www.youtube.com/watch?v=KtA6u1HIqbg>
<https://www.youtube.com/watch?v=M3atFonEY8E>
<https://www.youtube.com/watch?v=oWfFco7K9v8&feature=youtu.be>

次に展示室に入場し、部屋の中央に展示された「不可能モーション立体」の周囲を一回り回って観賞しました。この展示物は大型で丁寧に作りこまれていて、実物の中央部は床面より高いのに、凹んでいるように感じられます。



正しい観賞位置から(凹んで見える)



反対側から(中央が高い)

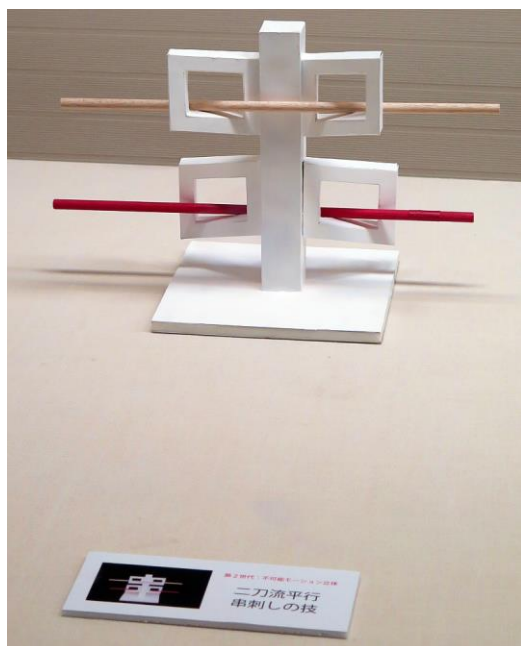
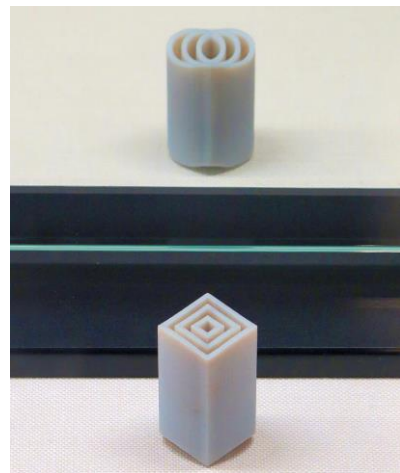
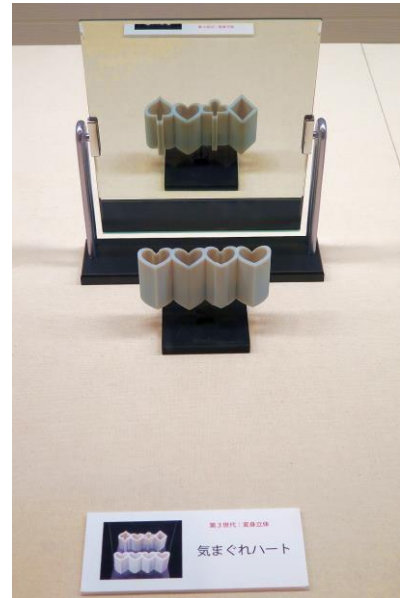
壁面の展示は、・第 1 世代「だまし絵立体」・第 2 世代不可能立体「不可能モーション立体」(1995～)・第 3 世代不可能立体「変身立体」(2014～)・第 4 世代不可能立体「透身立体」(2015～)・第 5 世代不可能立体「トポロジー攪乱 (かくらん) 立体」(2016～)・第 6 世代不可能立体「軟体立体」(2016～)と、年代順に技術説明パネルがあり、対応する作品が展示されていました。個別の作品に対して詳しい説明が無かったのが残念ですが、見学者は互いに話し合いながら、和やかに観賞を行っていました。

私たちは仕上げに、ビデオを再び観賞し、復習をすることで不可能立体への理解を含めることができました。

以下に、主な作品の写真を掲載します。



特別展示室の入り口



「軟体立体」【回転しても必ず右向きの矢印 ⇒ になる】を体験する 佐藤 代表

(以上)